

## 巻頭言【巻頭言はweb版あり】

野元 正弘

## 1. 第14回 瀬戸内国際臨床試験カンファレンス

## 1 開会の挨拶

野元 正弘

## 第1部 臨床試験の方法, トランスレーショナルリサーチ

## 2 セロトニントランスポーターを用いた膜輸送活性化薬の検索

酒井 規雄

## 3 骨盤内血流と過活動膀胱

齊藤 源顕

## 4 特定臨床研究, 治験における血液検査の基準値について

野元 正弘

## 5 臨床薬理からの臨床研究 バイオマーカーとアウトカムの狭間で

植田真一郎

## 第2部 臨床研究支援

## 6 山口大学病院における臨床研究支援体制

梅本 誠治

## 7 徳島大学病院における臨床研究支援の試み

楊河 宏章

## 8 高知大学における臨床研究支援体制

飯山 達雄, 浅野 健人

## 第3部 地域と臨床研究

## 9 臨床研究の推進と臨床薬理学の役割

渡邊 裕司

## 10 日常診療における臨床薬理学の貢献

原田 和博

## 11 地域医療におけるポリファーマシーの課題

川本 龍一

## 12 閉会の挨拶

野元 正弘

## 2. 生命倫理と研究倫理の過去・現在・未来（第1回）

## ●バイオエシックスの源流と研究倫理の新たな潮流

1 バイオエシックスといのちの思想—「人間の尊厳」確立に向けた  
市民活動—木村利人教授インタビュー—木村 利人  
インタビュー：栗原千絵子

## 2 明治大学 ELM の存在意義—患者のアドボカシー機関としての役割—

小西 知世

## 3 臨床研究と倫理審査を理解するために

吉田 雅幸

## 4 緊急事態時の研究倫理—倫理審査と研究のモニタリング—

飯島 祥彦

## ●先端的医療技術と倫理・社会的課題

## 5 子宮移植の現状, 課題, 展望

木須 伊織

## 6 精神疾患に対する脳神経外科的治療—日本での臨床試験実施が直面する課題—

櫛島 次郎

## ●諸外国の動向：過去・現在・未来

## 7 東独臨床試験問題：冷戦下に起きたこと

齊尾 武郎, 栗原千絵子

## ●利益相反と産学連携の現状

## 8 メディカルアドバイザーボードミーティングの実施に関する提言

井上 陽一, 三原 華子,  
友平 裕三, 他

## ●被験者健康被害補償体制の新たな動向

9 日本における治験補償ガイドラインの改定—改定の経緯と最近の  
質問に関する見解—鍋岡 勇造, 澤田 聡,  
齊藤 禎尚, 他10 医療機関における被験者健康被害補償のあり方に関する研究  
—実施医療機関における補償体制の整備に関する検討—笠井 宏委, 栗原千絵子,  
鈴木千恵子, 他

## 11 研究対象者の権利と補償の正義：倫理学的考察

栗原 渚, 栗原千絵子

## 3. 論文

## 1 認められぬ病と現代医療の社会的課題：心身二元論を超えて

齊尾 武郎

## 編集後記【web公表予定】

栗原 雅直

